

## 平成30年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	佐藤芳章
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	214-6041
<b>事務事業名</b>	4318 女性未来館運営事業										
<b>所 属</b>	130600 社会共創部・中央公民館										
<b>施 策</b>	07013700 男女共同参画社会の実現										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	100609 教育費・社会教育費・すざか女性未来館費									
	<b>事業</b>	010000 女性未来館運営事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
勤労女性及び勤労者家庭の福祉の増進を図るために必要な事業を実施するとともに、円滑な施設運営を推進する。						働く婦人の家設置の趣旨を踏まえ、女性の就労、勤労女性のスキルアップと家庭生活の両立、職業人としての知識・技能の習得に関する事業の一層の推進が期待される。 女性の就労及び生活支援、また若い女性や特に子育て中の女性への支援によって、女性の自立と社会参加の促進が期待できる。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
施設利用者と活発な意見交換を行い、講座運営及び施設使用、設備を円滑に行うことを目指す。	施設利用者と活発な意見交換を行い、講座運営及び施設使用、設備を円滑に行うことを目指す。
<b>平成29年度 実績</b>	<b>平成30年度 予定</b>
施設使用者と活発な意見交換を行い、講座運営及び施設使用、設備運営を円滑に行うことを目指す。	施設使用者と活発な意見交換を行い、講座運営及び施設使用、設備運営を円滑に行うことを目指す。
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>
事業終了（予定）	事業終了（予定）

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		3,085	3,371
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,085	3,371
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	553.2	553.2
	臨時職員	0.0	0.0
	計	553.2	553.2
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,638.2	3,924.2

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	256	消耗品費、光熱水費ガス等
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7	県働く婦人の家連絡協議会負担金
その他	2,822	職員人件費等

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7	県働く婦人の家連絡協議会負担金
その他	3,364	職員人件費等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	様々な学習活動で教える、教わることが女性の生きがいとなっており、また、交流・つながりができている。しかし、公民館事業と類似する部分が多く、施設の状況・社会情勢等からも中央公民館に事業を移管したうえ廃止することを検討していく。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	普通
評価コメント	毎年、事業成果について検証を行い、事業内容、広報の方法等を検討している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	平成29年度から冷暖房使用料の徴収を始めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
館利用者の高齢化や固定化。参加者が定員に達しない講座があった等。

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	統合・終了	次年度以降の方向性	統合・終了
総合評価コメント		2次評価コメント	
施設の現状、社会情勢等の変化に伴い、施設の廃止に向けて協議を進める		行財政改革の一環として、事後は公民館事業に統合し、施設は廃止する。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	